

Discovery



JULY 2015

株式会社日吉 vol. 07

✉ info@hiyoshi-es.co.jp
🌐 www.hiyoshi-es.co.jp/

本社: 〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908 TEL(0748)32-5111(代) FAX(0748)32-3339 / 東京支店: 〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 TEL(03)5772-6073(代)



アジア・太平洋の水環境改善に向けた多様な取り組みを実施



アジア・太平洋地域における水質改善に向けた国際間協力は、日本の義務であり私たちの使命でもあります。日吉では、ベトナムで開催されたプロジェクトに弊社スタッフを派遣しました。

環境省アジア水環境改善モデル事業、第2回調査へ（ダナン市）

2014.12.10～2014.12.20

IET ダナン（環境技術研究所）と協力し、水産加工工場 3 社の工場内の水利用状況や排水処理施設に流れ込む水量・水質の調査を行いました。

今回の調査は、同年 9 月に行った 10 社への調査結果をもとに選定した実証試験対象候補 3 社の排水状況をさらに詳しく調べることが目的でした。今回得た結果を踏まえて、試験地の選定や試験内容のアレンジを行います。



現地との綿密な交流を通じ、課題の解決を目指す



環境省アジア水環境改善モデル事業 FS 調査報告会・技術セミナー（ダナン市）2014.3.13

現地行政や水産加工工場を対象に、平成 26 年度に行った FS 調査結果の報告会、ならびに次年度に試験的に導入する「クラゲール」や排水処理施設管理の技術セミナーを開催しました。調査結果と考察に基づく導入時のコスト試算や効果事例を示し、その有用性と継続的な協力をアピールしました。

※PVA ゲルによる排水処理：微生物の働きで産業排水や生活排水を浄化し自然に戻す技術



JICA 草の根 キックオフ&ヒアリング（ハイフォン市カットバ島）2015.3.16～2015.3.22

滋賀県の産官共同で申請し平成 26 年度 8 月に採択された JICA 草の根事業「観光島カットバの水環境改善に向けた協働体制づくりの協力支援」がキックオフし、現地のグリーン成長に向けた活動がいよいよスタートしました。また、現地行政や事業所などへのヒアリングも行い、カットバ島の環境問題について情報収集をしました。今後はこの調査結果をもとに、2 年にわたって本事業の目的達成に向けた活動が展開されます。※JICA：独立行政法人・国際協力機構

アジア・太平洋諸国で求められる日吉の技術



残留性有機汚染物質（POPs）管理のためのバイオアッセイに関するセミナー開催（バンコク）

2014.4.21～2014.4.25

タイ国内におけるダイオキシン等 POPs に対する認識を高め、その実態とリスク、そして生物検定法による効果的な対策について広く周知するため、日吉・京都大学・KMUTT 大学（タイ）により共同開催されました。



インド

インド AP 州首相とのランチミーティングに参加 2014.11.26

州都づくりへの投資を求めるために来日した AP 州首相、チャンドラバブ氏に日吉のビジネスや社会活動について伝え、同州における事業の可能性を話し合いました。

※AP 州：アンドラ・プラデシュ州



スピーチコンテストで優勝したカップルが来社

日吉では 1995

年からインドでス

ピーチコンテスト

を共同企画。



2012 年、13 年の日本語優勝者であるベルムルガンさんとモニカさんが、スピーチをきっかけに幸せな結婚をされ、弊社を訪問してくれました。



中国



「日中省エネ環境フォーラム」プロジェクト調印式へ参加（北京）

2014.12.28

日中両国合わせて 500 名を超える官民関係者が参加しました。中国広東省にある 2 社と「佛山市におけるダイオキシン類生物検定プロジェクト」の調印文書を交換しました。

“頑張る中小企業”として未来を背負う若ものたちにエール

地域密着型の企業モデルとして、多くの大学生や大学院生、また高校生、さらにはスキルアップを目指す社会人と交流しました。国内外の環境問題に関する取組みや人材育成、ビジネス展開が評価され、経済産業省より「がんばる中小企業 300 社」に選定されたことがきっかけになっています。

龍谷大学BIZ-NET研究会「現地で学ぶ企業戦略」

2015.4.7

2015 年度第 1 回 BIZ-NET 研究会が日吉で開催されました。弊社社長、村田による講演「環境産業の概況と日吉の活動概要」を通じ、企業理念、社会貢献、環境産業、事業展開などについて説明し、共感を得ました。



国内外からの大学生による会社見学

カリフォルニア州立大学から学生や講師を含む25名が来社。国際的視野を持つ日本企業の実情に触れていただきながら、外国人の採用やインターンシップのあり方、また環境問題に対する取り組み姿勢や研究開発環境を紹介しました。



立命館大学「就活前オトナの社会科見学」を開催

立命館大学の1~4回生を対象に、採用活動およびキャリア形成を目的とした見学会を開催。日吉も参加する立命館科学技術振興会（ASTER）による主催です。会社案内やグループワークを通じて第一線の仕事を体験してもらいました。



中小企業庁・全国中小企業中央会委託事業職場見学バスツアー 実施 2015.2.19

就職活動中の大学生、院生を対象に、日吉の魅力を支える社は「社会立社・技術立社」や海外展開・女性力・多様性ワーキングを紹介。逆に、学生が創造する日吉の新規事業から様々なヒントをいただきました。



参加者の声

地元での就職を前提としていたが、広く企業を知る必要があると思った

訪問前は興味がわからなかったが、ツアーに参加してとても良い企業だと感じた

立命館大学・インドIITH大学・NITTE大学による「RiSE I≡J Project」会社見学・研修発表会

国際的視野を持った高度理工系人材の育成を目指すRiSE I≡J Project。活動の一環として、参加学生約20名が来社しました。日吉の技術や国際活動の経験をもとに、インドが抱える課題解決に向けた協働の道筋を模索しました。



変革力を持った人材を育て、未来を拓く



環境・福祉学習の推進をキーワードに、フォーラムや啓発事業を通じ、地球市民としての意識を高めるお手伝いをしています。
日吉の社会貢献事業のひとつです。

晴天のもと平成 27 年度入社式開催 2015.4.17

本年は、新卒者 9 名とキャリア 2 名の総勢 11 名を採用。式終了後の導入教育では、鈴木会長と村田社長が講話を行い、経営者の視点や考え方、経営感覚についての理解を促しました。仮配属先は、技術部 6 名、管理部 2 名、薬品部 2 名、営業部 1 名。社員ぐるみでの人材育成を目指します。



未来を拓く人育て・環境学習交流フォーラム開催 2015.11

ESD 世界会議関係者などを招き、県内外問わず地域の問題を解決するための議論・活動を推進する為のフォーラムが沖島で開催されました。



※主催は滋賀県ときんき環境館（環境省中間支援拠点）

チャリティバザー「カレンダー」「手帳」市 2015.1.10~2015.1.11

子どもたちの環境・福祉学習推進を目的に、バザー売上で野菜を育てる環境学習資材「栽培キット」を購入し、県内の小学校に寄贈しました。



ビット研修生受け入れ

転職希望の研修生を対象に、来年度における水質検査の事務業務を主として一ヶ月にわたる研修を行いました。活躍を応援しています。

八幡商業高校、瀬田工業高校インターンシップ受け入れ

技術部・営業部において日頃の学習成果を発揮してもらいました。この経験をもとに、学習がさらに進むことを期待しています。



株式会社ナショナルメンテナンス様より感謝状を賜りました。

緊急工事における汚水移送の対応を評価いただき感謝状を賜りました。



●用紙：琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー
透彻に管理された森林の木材を利用した FSC® 認証用紙

●インキ：大豆油インキを含む植物油インキ

●印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷

●製造、廃棄に発生する CO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済

●CO₂排出量：269kg/3,000 部